



八ツ田内七福神舞（白岩字塩ノ崎）



白岩の塩ノ崎地区に元禄時代から伝わる正月の伝統行事、「八ツ田内七福神舞」は、1月7日日曜日の夕方から白岩字塩ノ崎の鈴木栄一さんのお宅を宿前に、保存会の3軒のお宅を奉納してまわりました。

七福神の一行は、「道中囃子」^{はやし}にのって舞い込み、家に着くと先導の稲荷、そして七福神がそれぞれに舞いを披露。このあとひよつとごおどけた仕草で登場し、マブシ（養蚕用）を編んで五穀豊穡と養蚕の安全を祈願しました。また、かつては小正月の行事で、地区内はもとより祝いの事のある家から依頼を受け、近隣の村々まで舞い込んでいます。

保存会の家々には、伝統の舞を一目見ようと見物客やアマチュアカメラマンの皆さんが大勢訪れ、にぎやかな囃子にあわせて舞う姿に今年一年の幸福を願っていました。



荒井の太々神楽（荒井字荒井）

荒井地区の伝統芸能である太々神楽は、昭和10年ごろから戦争によって途絶えていましたが、荒井の太々神楽保存会の皆さんが中心となり、平成8年1月に、60年ぶりに復活しました。

今年も元旦の午前0時から、荒井神社で、太々神楽人会の皆さんにより、五穀豊穡、今年の無事故と幸せを願い披露されました。



編集・発行／本宮市 総務部 秘書広報課
 〒969-1192 福島県本宮市本宮字万世212 ☎ 0243-33-1111 F A X 0243-34-3138
<http://www.city.motomiya.lg.jp> E-mail info@city.motomiya.lg.jp



「広報もとみや」は、古紙配合100%の再生紙を使用しています。古紙配合率100%再生紙を使用しています